

菅首相退陣表明

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便振替口座00350-0-407
©下野新聞社2007

読者室 028-625-1179
(受付・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売局 028-625-1120
広告局 028-625-1133
事業局 028-625-1134

下野新聞社ホームページ
<http://www.shimotsuke.co.jp/>

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

栃木のニュースを携帯でも!!



下野新聞 検索

2次補正めど後

民主混乱拡大で引責

菅直人首相は2日、国会内で開いた民主党代議士会で、東日本大震災対応で一定のめどが付いた段階で退陣する意向を表明した。「私がやるべき役割が果たせた段階で若い世代に引き継いでいただきたい」と述べた。事実上、内閣不信任決議案採決をめぐり民主党内の混乱が拡大した責任を取ったとみられる。



不信任案採決を前に、

民主党の小沢一郎元代表や鳩山由紀夫前首相ら大量の議員が造反の意向を表明。仮に否決された場合でも党分裂は避けられず、これ以上の政権維持は困難と判断した。

首相の退陣表明を受け、野党の不信任案に同調する意向を示していた鳩山前首相は代議士会で

菅首相との会談で、東日本大震災復興基本法案を成立させ、2011年度第2次補正予算案にめどをつけた段階での首相退陣で合意したことを明らかにした。不信任案には反対する方向だ。

菅内閣は鳩山前首相の退陣を受けて昨年6月8日に発足。小沢氏と距離を置く「脱小沢」路線で内閣支持率のV字回復を果たしたが、7月の参院選は菅首相の唐突な消費税引き上げ発言が響き、惨敗した。

9月の民主党代表選で首相は小沢氏を破り再選されたものの、尖閣諸島周辺での中国漁船衝突事件の対応で迷走。今年1月に再改造内閣を発足させた後も求心力は回復せず、大震災や原発事故をめぐる後手後手の対応で批判を浴びた。

鳩山前首相の発言を聴く菅首相 2日午後、国会